

東京2020大会に向けたボランティアについて

1 東京2020大会におけるボランティアの概要

(1) 大会ボランティア

組織委員会が主体となって組織し、競技会場、選手村などの大会関係会場で、競技運営、会場案内、輸送、セキュリティなどの大会運営に従事するボランティア。

組織委員会は、2018年夏頃に大会ボランティアの募集開始予定。

(2) 都市ボランティア

競技開催都市や会場関連自治体が主体となって組織し、空港や主要駅など大会関係会場以外の場所で、国内外からの観戦客・観光客等に交通案内や観光案内等を行うボランティア。2018年夏以降に募集開始の予定。

2 大会関連ボランティアに関する取組

(1) 大会関連ボランティアへの参加機運の醸成

①リーフレットの作成・広報啓発

大会関連ボランティアへの参加機運の醸成を目的に、大会関連ボランティアに関する情報やロンドン大会におけるボランティアの活躍を紹介するリーフレットを作成し、「ちばアクアラインマラソン2016」等のイベントで配布を行った。

②フェイスブックの開設・情報発信

千葉県公式フェイスブック「ちばボランティア情報局」を開設し、東京2020大会に向けて、大会関連ボランティアに関する情報や県のボランティア育成の取組などの発信を開始した。

(2) 東京都ボランティア活動推進協議会

行政・民間団体などの多様な主体が集まって、広く都民にボランティア参加を呼び掛けていくなど、ボランティア機運を醸成するとともに、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の成功に向けて、ボランティア活動を円滑に推進するため設置。

- ・ 組織委員会・東京都「東京2020大会に向けたボランティア戦略」策定 (H28.12)
- ・ 今後、東京都を始めとした他の競技会場を有する自治体と連携し、ユニフォーム、案内ブース、研修プログラム等の共通的な運用を検討。

【会議開催状況】

- ・ 東京都ボランティア活動推進協議会(第1回：H27.9、第2回：H29.1)
- ・ 大会関連ボランティア分科会 (第1回：H28.11)
- ・ 都市ボランティア検討部会(第1回：H28.1、第2回：H28.5)

(3) 都市ボランティア分科会の開催

- ・ 第1回都市ボランティア分科会を開催 (H29.1)
- ・ 今後、次年度6～7月を目途に、大会関連ボランティアに関する方針を策定予定

都市ボランティア分科会推進体制図

